

(一般住宅記入例)

土地の選定理由書

転用事業者

住 所

氏 名

1. 当該申請事業に係る候補地エリアの選定、必要な土地の条件等

現在、〇〇市のアパートを借家し夫と居住しているが、出産を控え現借家が手狭となることから持家の新居を確保したい。

将来的には親の面倒を見る必要があるため、実家から k m の範囲を候補地エリアとして選定しました。

必要とする土地の条件としては、車 台分の駐車スペースと庭を備えた一般的な住宅を建設したいため、約 m² の土地が必要であり、また、建築基準法を満たすことが必要であります。

2. 上記条件を満たす他の土地との比較

この欄には、上記 1 で絞った条件に合致する土地で申出地以外に最低 3 カ所の候補地を記載し、使えない理由を記載する。

記載例：雑種地〇〇〇番地については、地権者が〇〇として利用中。

・候補地としてあげる順番としては、「未活用の宅地や雑種地などの農地以外の土地」→「農振白地の農地」→「農用地区域内農地（除外申出地が除外後 1 種農地になり、かつ周囲に除外すると 2 種または 3 種農地にある筆がある場合に限る）」。

- ・自己や親族が所有する農地だけを候補地とすることは不適當。
- ・白地農地を所有している場合には、地番と使えない理由を記載する。理由は、「営農を継続するため」や「道が狭く車両の通行に支障があるため」等。

※エリアを絞ったなかでの候補地を記載して下さい。

①農地以外の土地（未活用の宅地や雑種地等）⇒②白地農地（農振農用地でない農地）⇒③青地農地（農振農用地）の順番で候補地を記載して下さい。

上記の順番で3筆記載して下さい。

①の土地が3筆以上ある場合は、①の土地を3筆全て記載して下さい。

【記載例】

候補地1 周辺の〇〇番地（宅地 〇〇㎡）は、農地以外の土地であるが所有者に利用計画があり、候補地から外れました。

候補地2 周辺の〇〇番地（雑種地 〇〇㎡）は、農地以外の土地であるが所有者に利用計画があり、候補地から外れました。

候補地3 周辺の〇〇番地（畑（白地農地） 〇〇㎡）は、今後、所有者に利用計画があり、候補地から外れました。

選定エリア内周辺の他の土地は、所有者に利用計画があるため、他に代替える土地はありません。

3. 当該申請土地の状況

申請地 番地（ ㎡）は青字農地であるが、隣接する土地の利用状況は〇〇のため、周辺農地への支障が無いことから候補地として選定しました。